

## 高瀬嘉代子先生(大杉小) の急逝を悼む

悲しいお知らせです。江戸川区大杉小学校教諭の高瀬嘉代子先生が、10月24日午後、同校での課外活動指導中に倒れられ、同日夜、急逝されました。27日、御通夜が行なわれ、中土手の会では、下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラムと一緒に生花を献納させていただきました。



高瀬先生には、2001年5月の中土手五色池での出会いを契機に荒川における環境学習の実践指導で大変お世話になりました。以来毎年「中土手たんけん 春のまき、夏の巻き、秋のまき、冬のまき」と年4回総合学習の時間に、多いときは2学年100余名と先生方・ボランティアの父母も一緒に中土手にやってこられて活動されました。中土手の会でも毎回数人がお手伝いで参加し、一緒に遊ばせていただきました。

高瀬先生は、授業時間だけでなく、学校の休日にも、子どもたちの希望者を伴って、自転車で荒川に遊びに行き、さまざまな活動をしていました。3年間荒川で一緒に遊び学んだ子どもたちが、



2004年1月29日、大杉池完成記念式典で高瀬先生と中土手の関係者、記念のリース

2004年3月の卒業に際して『卒業論文集』を残しました。それは、これが小学生かと驚くほどの内容で、高瀬先生の教育の質の高さを示すものと感動いたしました。その論文集は「荒川の宝物」として大切に保管しています。今年は4年生の担任で、この子たちが卒業するときにはどんなにかと期待していたので残念ですが、先生の教えを受けた子どもたちはきっと立派な『卒業論文集』を作ってくれるものと思います。

まだまだこれからも、大杉小学校の子どもたちと一緒に荒川で楽しく遊び学ぶ活動を協働で実践できると思っていましたので、突然の訃報に私も途方にたづねております。でも悲しんでばかりいられません。先生が残してくださった足跡をたどりながら、今後も子どもたちと一緒に荒川での活動を続けてまいりたいと思います。

佐藤 正兵

### ご案内

**五色池** 11月20日(日) 10:00~14:00 弓矢遊び、リースとミニヨシズ作り

持ち物：おにぎり、トン汁の具、おわんとはし、水筒(飲み物)、よごれてもいい服とクツ、帽子

**小松川池(仮称)池堀作業** 11月26日(土) 10:00~14:30

持ち物・服装：おにぎり、トン汁の具、おわんとはし、長靴と汚れてもいい服装・雨具(雨天の場合)

お待たせしました。小松川池(仮称)の工事が始まります。26日は、小型ユンボ(掘削機械)と人力(スコップ)で池を掘ります。一回では終わらず、春まで掛かるとは思いますが、要約手続きが終わりみんなで掘る子9とができることになりました。持ち物等は上(五色池と同じ)長靴と汚れてもいい服装で。

# 10月23日の報告

## 秋は花も虫も楽しみがいっぱい！

大杉小学校の児童2人が遊びに来てくれました。学校が行なっている「中土手たんけん」のほか、春祭りにも来た子たちです。

まず石水さんの指導で虫取り。エンマコオロギやカントタン、カマキリ、トンボなどたくさん捕まえ、さらに、学校のプールに浮かべて、トンボの産卵を促すための仕掛けをススキで作ってもらっていました。

男の子にとってはなんと言って弓矢が一番の楽しみ。二人で思いっきり遊んだ後で、その弓を持って帰りたいたいとおねだりです。「これは持ち帰っても矢を射るところがないからだめ、また中土手に来て遊びなさい」とお決まりの説得にもしぶとく抵抗。だめとわかると、竹からの作り方を熱心に聴いていました。

次は、ヨシズ編み。今年生えたヨシも十分に硬くなって、ヨシズの材料にできるようになっています。倉庫の中にあった昨年のヨシのほか、近くのヨシを鎌で刈って、葉っぱをとり、皮を向いたり剥かないままで、ヨシズを編みまし



ワレモコウ



カントタン

た。白鳥さんと芹沢さんが熱心に編んでくれ、できたヨシズは佐藤がもらって帰りました。数年前に作って我が家の窓に下げていたヨシズと交換しました。

タコノアシの群生は見事に色づいて、まさに、ユデダコが数百匹アシを空に向けているようです。そこにアキアカネがとまって羽を休めていました。

ワレモコウも今が見頃。夏に周りの草を刈ってやったので、可憐な花を元気に咲かせています。

石水さんが、草むらでカントタンを見つけ、自然のままの撮影に成功しました。カントタンかヒロバネカントタンかはよく似ているので見分けが難しいのですが、いずれにせよこれはオスです。

(報告 佐藤正兵)



タコノアシにとまるアキアカネ